

2019 年前半期の ICM（国際助産師連盟）の活動

ICM 理事（Western Pacific 担当）九州大学
谷口初美

2019 年前半期の ICM の活動は、ICM のパートナーである組織や団体との主要な会議が開催され、5 月には年次理事会が ICM 事務局で開催された。主要な ICM の活動について報告する。

パートナー団体との会合など

2 月の FIGO（国際産婦人科連合）の ICM 事務局への訪問に続き、Franka 会長と Sally 事務局長は、ICN（国際看護師協会）の会長 Ms. Annette Kennedy、CEO Ms. Howard Catton との会合では、お互いの専門職の特性を明瞭にし、特に、ソーシャルメディアにおけるイベント時に、ともにサポートする事が合意された。

4 月 24 日には、Franka 会長と Sally 事務局長は、WHO の世界保健総局責任者（UHC）Anshu Banerjee、WHO 事務局長（DG）Dr. Tedros 等と会合で、助産師の自律的立場の重要性と、生殖に関する健康と権利（SRHR）における助産師の重要な役割を承認してもらうことに成功し、2020 年が助産師の年と看護師の年になることが合意された。

地域会議・理事会など

5 月 1 日から、ヨーロッパ地域会議が北部、中部、南部の合同でアイスランドのレイキャビックで開催された。欧州の会員のための結束力をサポートすることが約束された。



欧州地域会議（5 月 1 日）

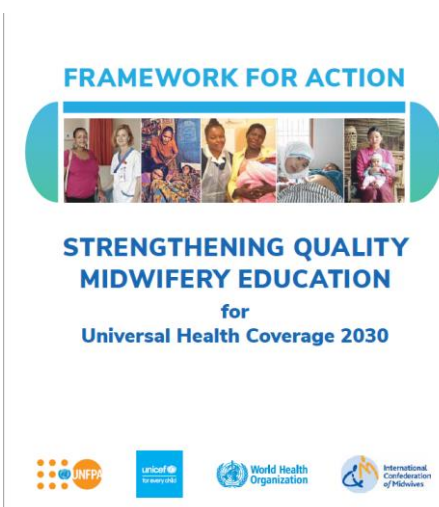
5月20日～23日 WHA（World Health Assembly: 世界健康総会）がWHO本部ジュネーブ、スイス開催され、Ms. Sandra Oyarzo ICMの南アメリカ担当理事がチリの女性と助産師の為に多大なる貢献をしたことでWomen in Global Healthの”Heroin of Health”に任命された。



Heroin of Health”に任命されました Ms. Sandra Oyarzo 左端

このWHAで、WHO、UNFPA、ICM共同で2030年のユニバーサルカバレッジのために助産師教育の質の強化の枠組みが出来上がった（下記のURL）。

<https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/324738/9789241515849-eng.pdf>



新助産師教育の質の強化の枠組み

理事会は、4月3日、17日に2回電子会議で2018年度の収支決算の承認と5月の年次理事会の議案の検討後、年次理事会が5月14日～17日にICM事務局ハーグで開催された。ICM会員に新たに7団体の加盟が認められ、139団体119か国となった。ICMの運営維持の費の新たな算定基準が各団体の個人単位の会費率という新たな構想が紹介されたが、今回は慎重に審議する必要性があるとして、更なる改正案を期待する事になった。ICM地域会議が9月にアフリカの南部ナミビア共和国で開催予定である。ICM 2020 in Bali は順調に準備が進んでおり、会期中に1790の抄録登録が報告された。4000名以上の参加者を期待している。事前参加登録は2月28日、2020年です。来年のバリでお会いしましょう！



5月の年次理事会、Board members（前列左端がFranka Cadee会長、後列左から2番目筆者）とSally事務局長（前列右側）